まちがい5 ファイブ

今回のテーマ

夜景観賞定期クルーズ

北九州市が誇る工場夜景や市街地の明かり、ライトアップされた若戸大橋などを船上から観賞できます。

応募締め切り 7月7日(月) 消印有効

応募方法

はがきに、間違っている画面番号と、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりの感想を書いて、次の応募先へ。LINE応募(北九州市公式LINEを友だち追加し、トーク画面で「市政だより」をタップ)、ネットも可。正解者の中から抽選で10人に図書カードを進呈します。

応募先

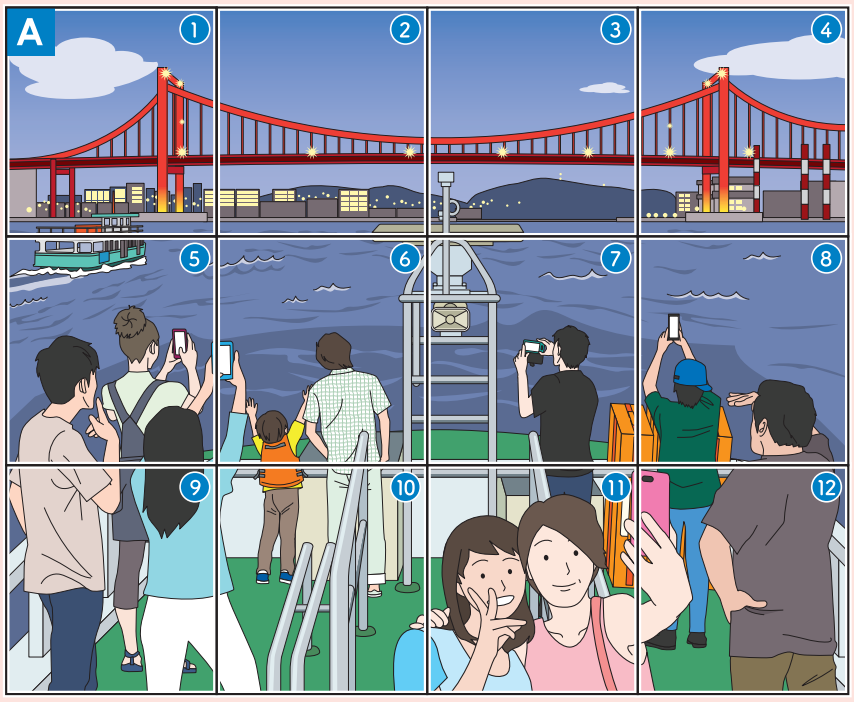
〒803-8501 市長公室広報戦略課
「まちがい5」係(☎582・2236)

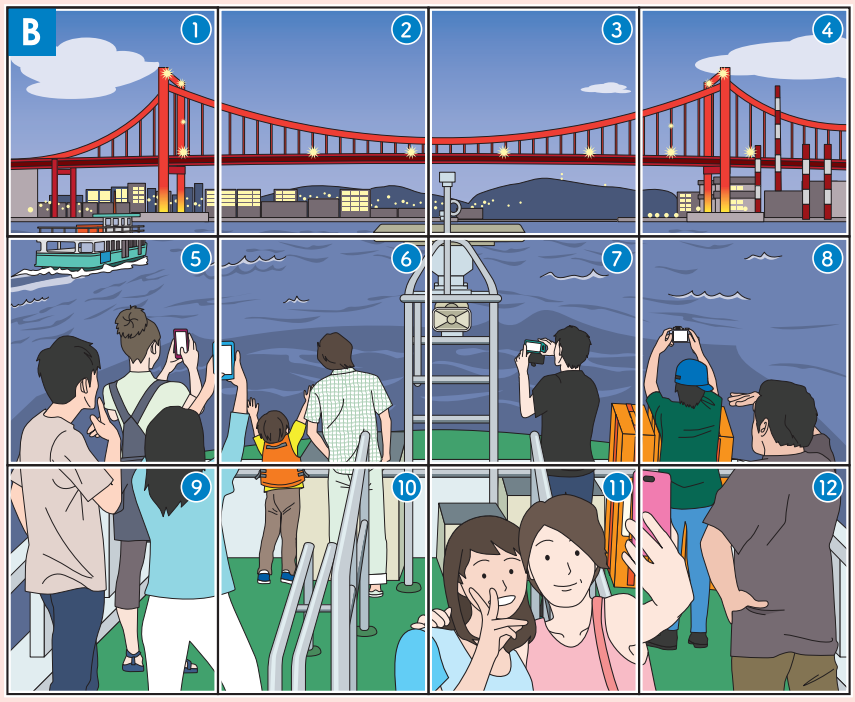
◀市のホームページからの申し込み

北九州市▶公式LINE友だち追加

イラストのAとBを比べて、違っている部分を見つけてください。
間違いは全部で5つ(5画面)です。

※印刷のにじみや色の濃淡は間違いに含みません。





6月1日号の答え

5つの間違い ①③④⑦⑨

間違い部分 ①ボトルの有無 ③眼鏡をかけている・いない ④冊子の有無 ⑦腕時計をしている・いない ⑨襟の形

応募総数 1234通

※当選者の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。 ※個人情報や感想は、景品発送と紙面づくりの参考に利用します。

図書館職員の書籍紹介

中央図書館 50 開館50周年

～中央図書館開館50周年を記念し、
北九州市にちなんだ「お薦めの一冊」をご紹介します～

『生きとし生ける』1～3巻 著・長谷川未来

担中央図書館
☎571・1481

今回はコミックスのご紹介です。

祖父の遺した手帳の言葉に導かれ門司港を訪れた主人公の小説家。彼はそこで祖父の戦友の娘・ひ孫と偶然知り合う。彼らとの交流を深める中で、全く知らなかった祖父の過去に触れ、それを小説にしたいと強く思いを抱くのだが…。

今年は終戦から80年の節目の年。しかし、世界ではいまだ戦争や紛争が絶えません。この作品を読むことで、これまで遠い昔のことのように感じていた戦争の傷痕が、ここ北九州にもあるのだと改めて気付かされました。

戦争体験を直接聞く機会が減っている昨今、戦争を知らない私たち一人一人にできる平和への第一歩は「まずは知ること」なのだと再認識させられる作品です。

中央図書館司書　村田 直美

生きとし生ける
著／長谷川未来
ヒーローズ

※ご紹介の書籍は、市立図書館で所蔵しています。
予約が多い場合はすぐに貸し出しできないことがあります。

温故知新 温Z知新

担政策局Z世代課☎582・2925

次世代を担うZ世代から学び、共に未来の北九州を考えよう

今回は「地域課題と向き合うZ世代」。昨年度のZ世代課「区役所創造プロジェクト」で八幡東区役所と鳥獣被害対策に取り組んだ九州国際大学の貞金大貴さん(21歳)に話を聞きました!

▲イノシシ用のわなを設置

このプロジェクトには、大学の授業で鳥獣被害対策に興味が湧いたので参加しました。最初は「イノシシを捕って食べれば被害が減るのでは」と軽い気持ちでしたが、学ぶうちに、現代社会では人による自然への働きかけが減っていることや猟友会の高齢化など、普段の生活では分からないさまざまな課題に気付かされました。また、実際に狩猟免許を取得して現場を体験することで、この問題の深刻さを肌で感じました。猟友会の方からは「普段若い人と接する機会がないので、交流できてうれしい」と言っていただいたのが印象的で、それならば若者らしく「動画でどんどん情報を発信して、多くの若者に知ってもらいましょう!」と話をしました。

今後も、先輩方からの教えを引き継ぎつつ、若者らしい手法も交えて多世代と連携しながら、地域で活動していきたいと思います。

広告の申し込みは㈱ウイット☎072・668・3275まで。
※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。